

製品名: ILF3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85705**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 95 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

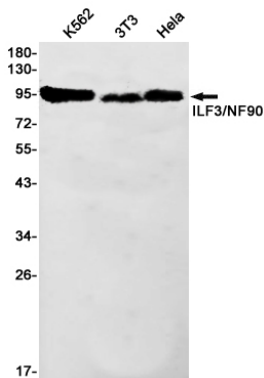
遺伝子名	ILF3
別名	ILF3; DRBF; MPHOSPH4; NF90; Interleukin enhancer-binding factor 3; Double-stranded RNA-binding protein 76; DRBP76; M-phase phosphoprotein 4; MPP4; Nuclear factor associated with dsRNA; NFAR; Nuclear factor of activated T-cells 90 kDa; NF-AT-90; Translational control protein 80; TCP80
遺伝子 ID	3609.0
SwissProt ID	Q12906
免疫原	ヒト ILF3 の合成ペプチド

背景

転写後レベルで二本鎖 RNA 制御遺伝子発現を促進する可能性がある。酸性 β -グルコシダーゼ (GCase) やその他の mRNA のコード配列に結合し、GCase mRNA の翻訳開始段階で機能する翻訳阻害タンパク質として作用し、おそらくポリソームへの結合を阻害することによって機能する。

研究分野

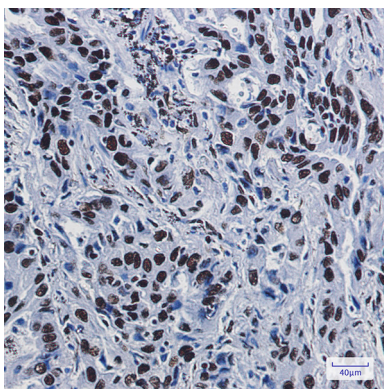
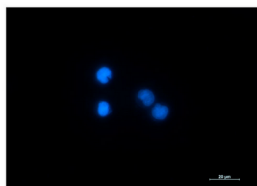
画像データ



ILF3/NF90 抗体を使用した K562、3T3、Hela 溶解物中の ILF3/NF90 のウエスタンブロット分析。



ILF3 抗体と DAPI (青) を使用した、Jurkat における ILF3 (緑) の免疫細胞化学分析。



ILF3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。